



2021年12月13日

各 位

会 社 名 アイ・ケイ・ケイホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 金子 和斗志
 (東証第一部 コード番号: 2198)
 問 合 せ 先 経 営 管 理 部 長 永島 和也
 T E L 050-3539-1122

2021年10月期通期連結業績予想と実績との差異及び
 剰余金の配当（期末無配）に関するお知らせ

2021年9月6日に公表いたしました2021年10月期通期連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたことに加え、2021年12月13日開催の取締役会において、2021年10月期の剰余金の配当につきまして無配とさせていただくことを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2021年10月期通期連結業績予想値と実績の差異について

(1) 2021年10月期通期連結業績予想値と実績の差異（2020年11月1日～2021年10月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 11,191	百万円 △1,964	百万円 △957	百万円 △987	円 銭 △33.67
今回公表実績(B)	11,530	△1,599	△610	△411	△14.03
増減額(B-A)	339	364	346	575	
増減率(%)	3.0	—	—	—	
(ご参考) 前期連結実績 (2020年10月期)	8,746	△3,981	△3,524	△4,235	△143.22

(2) 2021年10月期通期連結業績予想値と実績との差異の理由

2021年10月期の連結業績予想につきましては、2021年9月6日に公表しました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」の状況から、ワクチン接種が進んだことや感染防止の意識の高まりにより新規感染者が減少し、主に当社の婚礼事業において、施行組数が予想値を上回って推移したことによるものです。

次期以降は、経済活動の正常化に向け、一部に厳しさは残るものの、総じて持ち直しの動きがみられております。しかしながら、海外の規制緩和の動向や第6波への警戒感により依然として先行きは不透明な状況が続いております。

引き続き、当社グループは、お客さまと社員の安全・安心を最優先事項と考え、「新型コロナウイルス感染防止ガイドライン」に基づき最大限の感染防止対策を徹底した上で挙式・披露宴等を実施し、業績の回復に努めて参ります。

2. 配当について（期末無配）

（1）2021年10期 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2020年12月14日公表)	前期実績 (2020年10月期)
基 準 日	2021年10月31日	同左	2020年10月31日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	0円00銭
配当金の総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

（2）理 由

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題のひとつと認識し、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、経営成績に応じた配当を実施していくことを基本方針としております。

2021年10月期につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大が業績に与える影響が大きく、現時点においては財務体質の安定維持を図ることが最重要事項であると考え、誠に遺憾ではございますが、「無配」とさせていただきますことといたしました。

株主の皆さまには深くお詫び申し上げますとともに、厳しい経営環境ではございますが、業績の改善に向けて尽力してまいりますので、ご理解と引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上